

47期生 学年通信

Vol.11

2024. 09. 24 発行

文化祭が終了しました！

御来場の皆様、ありがとうございました！

★★ 文化祭をひとつのステップとして…

9月7日(土)&8日(日)に、櫛祭文化部門(通称、文化祭)が行われました！

47期生にとっては、成瀬高校生として、はじめての企画運営でしたが、最後までやり遂げることができました。御家庭には、さまざまな面で御協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

生徒たちにとって、文化祭に向けた活動は、様々な思いを抱く時期であったと思います。そのなかで、不安や悩みも抱えることもあったことでしょう。そのひとつひとつを、経験として積み重ね、成長に変えてほしいと願いながら、時に話を聞いたり、時に見守ったりしながら、この期間を担任団も過ごしていました。文化祭をひとつのステップとして、大きく成長を遂げた生徒たちの背中を、これからも支えていきたいと思います。

★★ 文化祭当日を迎えるまでの、長い道のり

来場者にとっては、たった2日間の文化祭。ですが、生徒たちの文化祭活動は、実は4月から始まっています。

入学した翌日頃に、まず「文化委員」という、クラスの中で、文化祭関連の代表者が決められます。まだ、クラスメイトの顔と名前も定かでないなか、その他の委員とともにクラスの役割として分担されます。4月中旬は、遠足についての話し合いなどが行われていますが、4月下旬に遠足が実施されると、その次からはじまる議題が、文化祭企画になります。話し合いを行い。クラスの中で方針を出し。企画書にまとめ。委員会で提出。

ところが！ 他クラスと企画が重なると、プレゼンテーションの内容によって、それらの企画は精査されていきます。1次企画で棄却されると、2次企画を提出しなければなりません。2・3年生は、これまでの経験を活かして、企画を突破していきますが、1年生にはこれがなかなか難しく…。3次企画までなだれこんでいくクラスもありました…。

例年、人気企画は、“おばけやしき系”や、“なぞとき系”です。1年生からは、言語文化(国語)の授業で習った「羅生門」にインスパイアされた企画が通っていきました。また、展示部門に属する企画が多いなか、ステージ部門の企画で通ったクラスもあり、多彩なラインナップとなりました。

企画が通った後は、具体的にクラスで活動を進めていくことになります。しかし、同時並行で、日常の授業や定期考査もあります。文化祭で発表を行う部活に所属している生徒は、部活での準備にもかかわらなければなりません。さらに、学校全体の文化祭を取り仕切る文化本部に所属している生徒は、そちらでの活動もあります。

企画に合わせて、教室内の備品(机椅子)を、どの程度の数量、どのように使うのか。材料費をつかって、何をどれくらい作るのか。具体的に相談したり決めたりしなければいけないことが、次々に現れて

きます。物を購入するにも、公的資金であるため、いろいろなルールが定められています。

前号でもふれましたが、開催時期の問題から、夏休み中にも準備を進める必要があります。誰が、いつ登校し、何を行うのか。スケジュールを組み、教員との生徒との間で連絡調整を行う必要もあります。

企画にそったコンセプトの装飾や衣装はどのように実現すればよいのか。考えたり迷ったり、つまづいたり困ったりを繰り返しながら、当日を目指します。

★★ 当日の様子

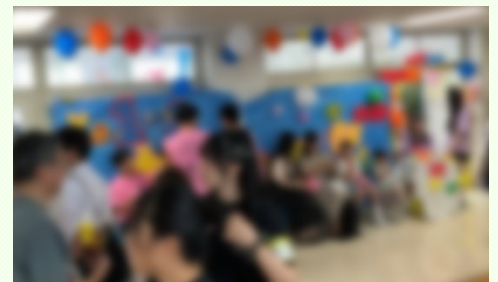
そのような、長い道のりを経て、ついに迎えた当日。

1年生の企画は、比較的ポップでルールがわかりやすい参加型アトラクションが多くなりました。小さな子供が気軽に楽しめるコンセプトであったこともあり、成高生だけでなく、御子様連れの来場者にも人気だったように見えます。廊下は、両日ともにたくさんのお客様でにぎわい、生徒たちも一生懸命に声を出して集客を狙っていました。



ボールを投げたり、蹴ったり、おもちゃの銃で的を狙ったり。内容は単純ですが、それぞれに独自のストーリー性をもたせて、各教室ともに装飾もがんばりました。

また、アトラクションを行うお客様に対して、楽しく遊ぶことができるような声援をおくるなど、あたたかな雰囲気をつくり出すことができていたように思えます。



体育館のステージをつかった企画は、25分という時間をめいっぱい活かした、ダンスを行いました。

クラス単位なので、決して、全員がダンスを得意としているわけではありません。しかし、お互いに補いあいながら、自分のもてる力で精一杯、表現しようとする姿は、ダンスという専門性を追求する発表とは違う良さが見えました。



外から見たときにも、窓から見えるように工夫したクラスもありました。



文化的成果の発表として、国語科の夏の課題として提出された POP の掲示も行われました。



部活動の発表の場として、文科系部活を中心として、活動発表や公演が行われました。

どの部活も、それぞれの専門性を活かして形したと思える発表でした。

文化祭のために結成された、有志団体によるバンド公演も行われました。
日常では見られない一面を、見せてくれました！



★★ クラス T シャツ

4月の委員会決めの際に、「T シャツ係」という、クラスの役割分担があります。櫛祭体育部門(通称、体育祭)の際に、各クラスでおそろいの T シャツを作成するにあたり、そのデザインを取りまとめる係です。この「クラス T シャツ(通称、クラ T)」は、体育祭で着た後、文化祭当日は、この T シャツを再び着用することができます。そして、文化祭当日は、T シャツのサンプルが掲示されて、デザインの投票も行われます。



★★ 祭りの後は…



文化祭の一般公開時間後は、生徒会が中心となって、在校生だけの「後夜祭」が行われました。

うたやダンスなど、有志によるパフォーマンスで文化祭は締めくくられました。

そして、振替休日を挟んで、お片付けです！



日頃の活動では様々な材料を、リサイクルできるものかどうかを考えながら、分別していきます。

各教室の片付けと備品移動が終了したあとは、閉祭式を行うため、体育館に集まりました。

閉祭式では、一般来場者・在校生・教職員からの投票を元に選ばれた各部門の大賞クラスが発表されます。

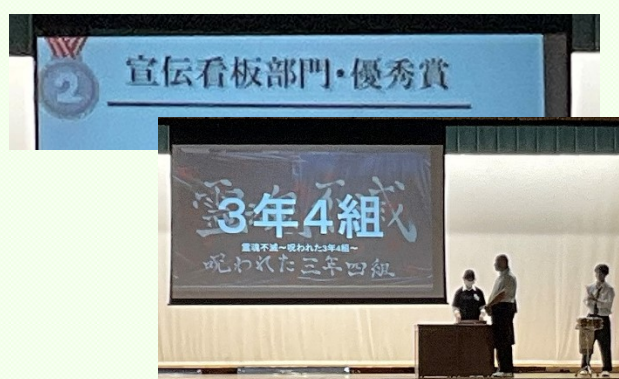


文化祭パンフレットの表紙は、本校生徒の作品より選ばれています。

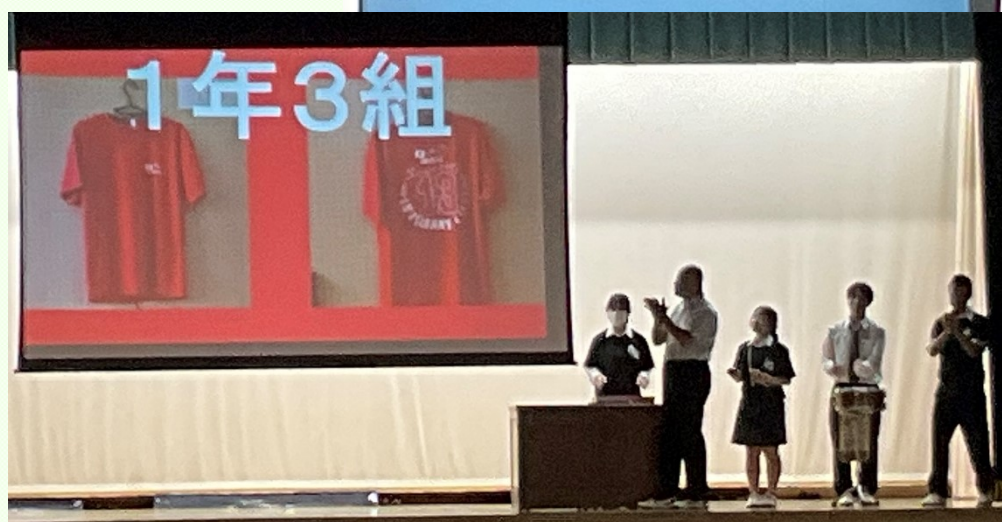
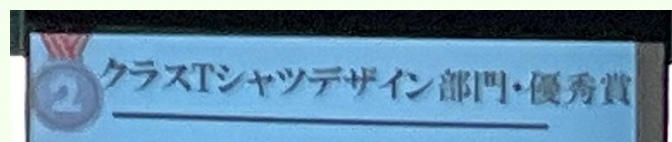
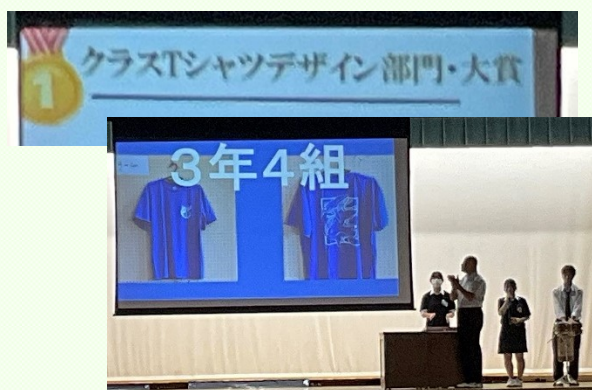


校外に掲示されていた看板は、各クラスが作成し、投票の対象となります。

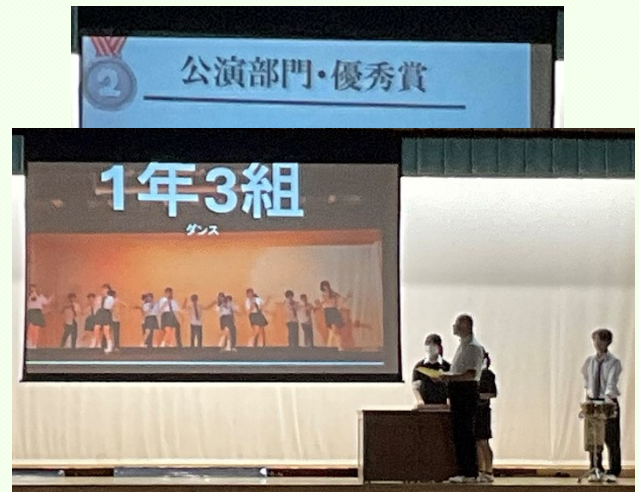
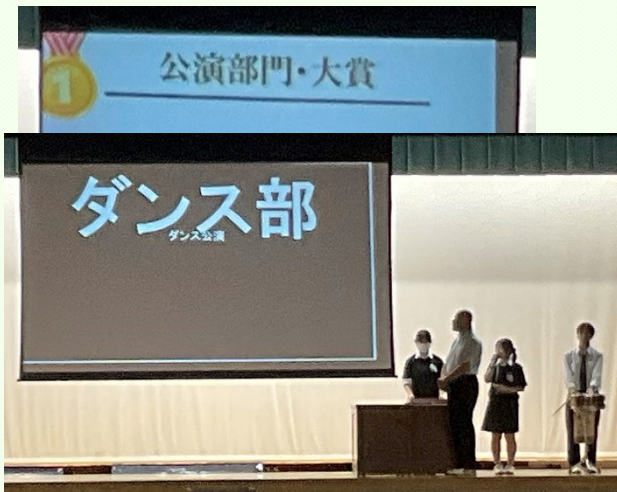
どのクラスも工夫を凝らしたデザインであったと思いますが、さすが3年生。テーマに合わせた“宣伝”看板が評価されました。



1年生は、クラスTシャツデザイン部門で、3組が優秀賞をいただきました！



また、公演部門の大賞はダンス部が！ 優秀賞も、1年3組が獲得することができました！！



その他、飲食部門の大賞は2年7組(7転焼き／たこやきやさん)、 優秀賞3年6組(森貴族／やきとりやさん)。展示催し物部門の大賞は3年4組(霊魂不滅～呪われた3年4組～／おばけやしき)、優秀賞は2年4組(Happiness Corporation／コーヒーカップ)に授与されました。

★★ 1年生も後半戦がはじまります

さて。文化祭も無事に終わり、これからの1年生は、「新2年生」と呼ばれる時期に入ります。まずは、卒後の進路を見据えながら、「新2年生」としての選択科目を決めなければいけません。成瀬高校に在籍する生徒の多くは、「大学進学」を考えています。しかし、具体的に大学で何を学ぶのか。ということについては、漠然としたイメージしかもてていない生徒も少なくありません。夏休み中に、課題として大学の学問調べなども行っていますが、より“自らの生き方”として具体的に考えていく時期に入ります。

9月下旬からは、担任との生徒の二者面談を行います。その面談を通して、卒後の進路と新2年生の選択科目を話し合っていきます。御家庭でも、積極的に卒後の進路についてを話題にいただき、日頃の高校での学習が、どのように卒後につながっていくのか、考える時間をつくっていただければ幸いです。

★★ 今後の予定

- 9月：面談週間(進路)
- 10月：探究 DAY
- 10月：中間考査

【次回更新予定】

9月 25 日前後。新2年生に向けた選択授業と進路について、を話題にして更新します。

